

こども・若者 Vol.1 ミライNEWS



こども・若者のミライにつなげる条例をみんなで考える部会

川西市は、こどもが笑顔になる、こどもが幸せになるために、こどもたちが自分の考えや意見を表明できる機会を保障するため、「(仮称)こども参加条例」の制定をめざしています。

大人だけで考えてつくるのではなく、当事者であるこども・若者が自分たちの意見を伝えながら、まちづくりに参加する権利を保障するためのルールについての話し合いを通じて、より良い条例づくりを進めています。

6月29日(土)にキセラ川西プラザで第1回がキックオフ



市内在住で9歳から29歳までのこども・若者約29,000人から無作為抽出した1,000人に郵送で参加を呼びかけたところ、51人から申し込みがありました。

第1回では、そのうち約40人のこども・若者が参加しました。

市はこれから、こども・若者が自分たちの意見を伝えながら、まちづくりに参加する権利を保障するためのルールについて、当事者であるこども・若者のみなさんとともに考えていきます。



部会の冒頭では、「コッシー」とこと越田市長から、参加したこども・若者に向け、「まず、こどもの幸せから始めていきたいと考えています。そのためには、みんなの考えや想いをコッシーに伝えてほしいです。みんなが安心して伝えられる環境をつくっていききたい。どんなことを普段考えているかな？ その声を私たちはしっかりと受け止めていきたいです」などと、参加者へ直接マイクを向けて意見を聞きながら、メッセージを届けました。

キックオフの模様

話しやすいように参加者だけでなく、スタッフもみんなで名札に呼んでほしい愛称を記入。

第1回は全5回で進める上での STEP1 として、ファシリテーターから、「今日はゲームをしたり、お菓子を食べたりしながら、楽しくおしゃべりをして、参加しているメンバーで仲良くなろう」と説明。

自己紹介では、色紙から今の自分の気持ちに近い色を選んでその理由を言ったり、好きな食べ物や動物を発表。



9つのグループでストレッチやチーム名を決めるなどのアイスブレイクをした後、参加者たちは「子どものけんり なんてやねん！すごろく」を楽しみ、「こどもは自分の意見を自由に表す権利を持っています」などのこどもの権利を学びながら、普段「なんでやねん!」と思うことを参加者同士で話し合いました。

すごろくを楽しんだ後は、自分がモヤモヤしていること、納得がいかないことなどを各テーブルに配られた大きな木の絵「なんでやねんの木」にふせんで貼りながら、意見交換をしました。



参加者の声

話しやすくて良い機会だと思いました。

色々な年齢の人と話す時があまり無かったので新鮮だった。



もっと色々な人と話したい。

みんなが優しい雰囲気だったので、自分の思っている事をハッキリ言えたのでとても楽しかったです。

違う意見を知れた。

知らない人と喋ったり、意見を言ったりするのが楽しかった。

